

Title	在宅ホスピスケアと医の原点実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所 News：2013 年度 聖学院大学総合研究所カウンセリングセンター主催：スピリチュアル・ケア研究講演会）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.23-No.1, 2013.9：35-38
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=4609
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

2013年度 聖学院大学総合研究所カウンセリングセンター主催
スピリチュアル・ケア研究講演会
在宅ホスピスケアと医の原点
実施結果—アンケート集計結果の概要—

人は自分らしく最後まで生きたいと願っています。現代医療は病気の治療では多くの貢献をしてきました。今、日本の医療は質が求められています。

病院から在宅医療に変わりつつあります。川越厚先生は、地域に根ざした在宅医療の新しいモデルを創り出しています。在宅ケア支援グループ・パリアンです。今回、川越先生は「在宅ホスピスケアと医の原点」と題して医療の原点を語ってくださいます。

日時：2013年4月26日(金)14:00～16:30

場所：聖学院大学ヴェリタス館教授会室

【プログラム】

開会挨拶・講師紹介

窪寺 俊之（聖学院大学大学院教授、聖学院大学こども心理学科長）

講演 「在宅ホスピスケアと医の原点」

川越 厚（医療法人社団パリアン理事長、クリニック川越院長）

質疑応答

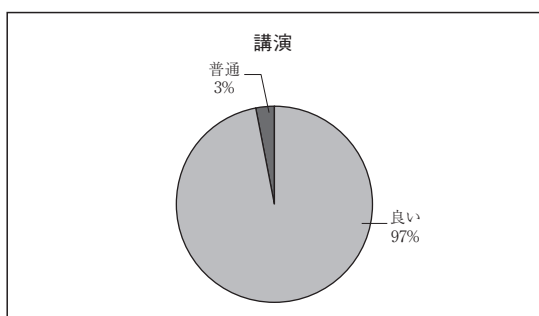
閉会

【結果の概要】

- ・参加者は55名。内、アンケート回答者は31名。
- ・講演について「良い」が97%と大変高い評価を得た。
- ・自由意見として、「とても感動的な内容だった」「とても気持ちが楽になった」「体験に裏付けられた貴重な話だった」など。

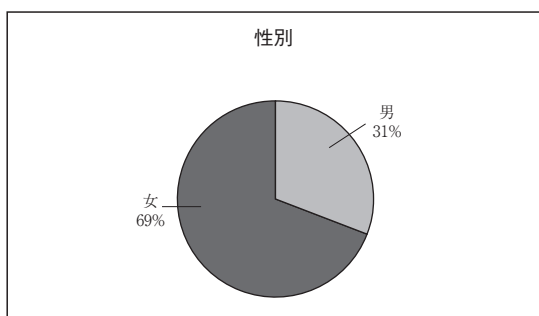
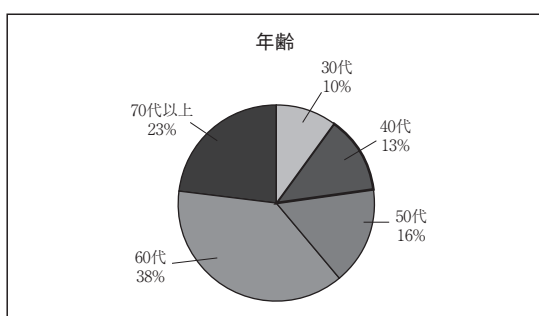


講演会風景①



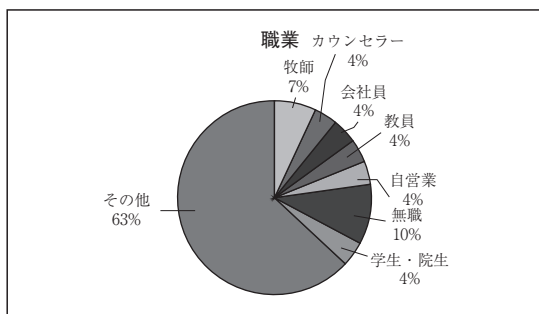
グラフ

(N/Aは除く)



* 回答者の年齢は、「60代」38%と最も多く、次に「70代以上」23%となった。

性別は、「女性」69%、「男性」31%となった。

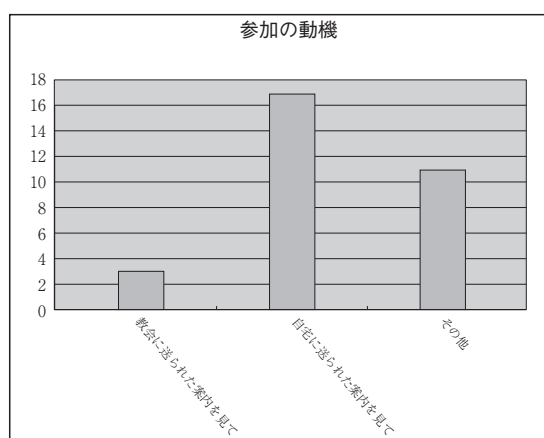


* 職業別では、「牧師」7%など。

「その他」の内容として、「看護師」「NPO法人」「ヘルパー」「伝道師」「精神保健福祉士」など。



講演会風景②



*参加の動機は、「自宅に送られた案内を見て」が最も多かった。

「その他」の内容は、「知人の紹介」「子供に聞いて」「東京新聞を見て」「ポスターを見て」「毎日新聞を見て」など。

今後の講演会への希望

- ・体験実習があったら良いと思った。ケアに対する大切さを知ることが出来たと思いました。
- ・川越先生にもう一度ご講演をお願いしたい。
- ・先端医療のさらなる進歩と長寿化は、人を死にくくしていないかという問題をもっと考え知りたい。
- ・スピリチュアルケアのスピリチュアルについて学びたいと思う。
- ・もっと質疑応答を聞きたかったです。川越先生みたいな医師が増えることを願います。
- ・今日のような實際役に立つ医療を学びたい。
- ・独居の方の在宅について川越先生に是非お話し

ていただきたいと思いました。

- ・東日本大震災の被災者に知人がいます。是非被災者のことを取り上げてほしい。
- ・尊厳死を考える。必要な治療と不必要な治療の考え方も。
- ・平穏死について。

自由意見

- ・ありがとうございました。今後も色々聞かせていただきたいと思っています。生きる～死ぬことなど。
- ・音声やビデオなどから実際の患者、家族の様子がわかり、知識の部分を理解しやすかったです。
- ・何度か参加させて頂いておりますが、毎回すばらしいと思います。2時間余り（片道）かけて出席させて頂いています。
- ・在宅看護師に踏み切れないでいます。患者さん自身を受け入れ、支える、大切だけれど病院にいると難しいですね。
- ・今日の川越先生のお話は今までの講演で一番良かったです。
- ・とても感動しました。2月25日に大切な人を在宅で天に送りました。本当にあれでよかったのか？と思いつめぐらしていましたが、解決を得たような気がいたします。
- ・今回の講演は川越先生の人間性もあり、とても感動的な内容でした。
- ・最後に先生が言われた、それぞれが「死生観」を真剣に学ぶことが大切とのことであったが、まさにその時機が社会全体に広めるタイミングに至ったことを痛感した。
- ・大変実のある講演会でした。特に体験に裏付けられた貴重なお話、本当にありがとうございました。
- ・とても気持ちが楽になりました。家族(夫・子供)に私のこれからの事をわかってもらえるように、改めて話を深めていく事につとめていきます。
- ・自分におきる変化、そのことの喪失、喪失の受容、自分というもの（人として、生きるものとして）をどのように理解し、今の自分を受けとめていくか。大切な人をどのようにして、その尊厳を尊重するか、その人のまわりの人々の思いと、大切な人々の思いを尊重したとき、私自身の思いをどう

感受するか。

人は皆死に行く人です。今をより良く生きるヒントがたくさんあった講演会でした。乳がんのときに知り合ったがん友のことを思い出しました。思い出があることに感謝です。ありがとうございました。

・生きることのゴールにある死をどう迎えるかは、本人にとっても、本人のことを大切に思う家族等にとっても、とても大切なことだと思います。その歩みをいかにして支える、寄り添うことができるかを考える時、私たちが持っていた信念のようなものを確かめることが出来ました。ありがとうございました。10年以上前ですが、看護学校の授業で先生の「家で死にたい」をテキストにしました。本物の先生にお話を伺えて幸いでした。

・今日は良い話であり、行き届き良い話でした。
ありがとうございました。

- ・先生のお話とても参考になりました。
- ・素晴らしい講演会でした。ありがとうございました。
- ・良い講演ありがとうございました。
- ・良い講演と質疑応答でした。
- ・本を3冊購入できて感謝。
- ・〆そもそも医療とは、をもう少しわかるように話してほしかった。